

### 別記 3

#### 平成 24 年度第 1 回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 平成 24 年度第 1 回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 平成 24 年 7 月 23 日（月曜日） 13 時 30 分から 15 時 30 分まで
- 3 開催場所 愛媛県議会議事堂 4 階 文教警察委員会室
- 4 出席者 委員 4 名、事務局 5 名、大学 8 名
- 5 審議事項（議事）  
公立大学法人愛媛県立医療技術大学に対するヒアリング
  - ・平成 23 年度業務実績報告
  - ・平成 23 年度財務諸表
  - ・平成 23 年度利益処分（案）
- 6 審議の内容（全部公開）  
公立大学法人愛媛県立医療技術大学の平成 23 年度分の業務実績報告書、財務諸表及び利益処分（案）に関して、委員から法人役員に対しヒアリングを実施した。

#### （主な質疑等）

卒業生の県内就職率（45％）に関し、中期計画に掲げる目標の 50％に届いていない点について、今後の方策は。

23 年度卒業生に関しては、県内出身者が県外へ就職する割合が高く、県内就職率が低い結果となった。県内出身者の県外志向が今後とも続くのか留意していく必要がある。来年度から計画している入学定員の増においては、県内就職者を増やすため、増員分の 6 割を県内生から採る計画である。

大学院の設置を検討しているが、大学院設置の理念は何か。

特に看護師については、社会人になってからももう一度大学院で学び直したいという希望があると聞いている。優秀な教員の確保のためにも、大学院は必要と考えている。

平成 24 年度に開設した助産学専攻科について、15 名の定員であるが 10 名しか募集していないのはなぜか。

専攻科開設前に入学した学生に対して 4 年次選択制の枠（10 名）が残っており、当該学生が卒業するまでは選択制 10 名、専攻科 10 名で行う。選択制の定員は 10 名であるが、実際には 5 名程度である。なお、助産師の資格取得には、正常分娩介助の実習数が必要であり、専攻科の 1 年間で実習数を確保するには 15 名程度までが限度である。

【意見】助産師教育は、県内唯一の助産師養成機関として医療技術大学の軸であり、専攻科を開設できたことは高く評価してよいと思われる。

学外での活動について

【意見】医療技術大学では、東日本大震災後の被災地支援等において、全国的に高い評価を得ている活動も行っており、そういった点も評価に入れられないか。

平成 23 年度利益剰余金について、教員の欠員による剰余金が含まれるのか。

平成 22 年度、平成 23 年度で最大 7 名の欠員があり、その両年分が含まれている。先行の国立大学法人や他の公立大学法人では、学生定員の充足でもって「目的積立金」への積立てが承認されているところである。

【意見】

- ・特に教員の欠員人件費分について、経営努力として認めるかどうかは判断が難しい。
- ・在籍する教員の頑張りにより欠員をカバーしているという側面もあるので、それは評価したい。

その他

- ・事務局プロパー職員の雇用について
- ・大学施設（アメニティー）の改善について
- ・教員の欠員確保について

〔事務局〕

保健福祉部管理局保健福祉課  
調整管理係

TEL 089-912-2381

FAX 089-921-8004